熊本東ロータリークラブ週報

第2720地区

創 立／昭和39年７月７日

例　会：毎週火曜日 12：30～13：30

例会場：熊本ホテルキャッスル TEL 096-326-3311

事務所／熊本市中央区城東町4-2
熊本ホテルキャッスル2F
〒860-0846
TEL 096-354-4521
FAX 096-354-4053
kerc@serc2720.org

No.2730　例会日　令和２年10月13日(第13回)

★本年度 RII 会長テーマ

ロータリーは機会の扉を開く

ホルガー・クナーク
2020～2021年度 国際ロータリー会長

★本年度 RI2720 地区スローガン「ロータリーは無限の可能性・情熱で夢を未来に届けよう」　ガバナー 硯川昭一
★本年度熊本東ロータリースローガン「ピンチをチャンスに」～明るい未来のために心の免疫力を高めよう～　会長 榎主税

公共イメージ委員会／西上佳孝、田中俊憲、堀川秀一、大久保誠、松本孝一郎、野間四郎、由井照二、遠山慈水、守谷光弘、寺本憲央、下川寛、樋口久幸

歌　唱

ロータリーマイロータリー

会長挨拶（榎　主税 会長）

今が一年中で一番凌ぎやすい季節ではないかと思います、皆様の体感は如何でしょうか？

さて、本日は「ソロキャンプ」について述べさせて頂きます。人間は集団の動物であり、一人では生きていけないとよく言われていますが、しかし、時に「一人でいることの喜び」を感じることはあるかと思います。そして、一人でテントを張り、ゆっくりと自然の中で過ごす、という、「ソロキャンプ」が日本でも密かに流行り始めているようです。しかも、何と、最近では「女性が一人で過ごすソロキャンプ」も増えているそうで、「キャリーバッグ、リュック一つで自然に入り、新たな価値観を感じながら、来るべき時代の生きる英気と知恵を養う。」のだそうです。特に、この秋の夜長に、「何もしないことによる充実感」をしっかりと味わいながら、「五感を研ぎ澄まし」動物としての人間の本能を磨いたうえで、「普遍的なモノ」即ち「真理を求めて生き抜くことが大切である。」とも思います。

尚、シンプルに行う「ソロキャンプ」の最低限の準備品は、テント、チェア、テーブル、クッカー、バーナー、ヘッドライト、ランタン、食器、防寒着、お風呂セット、薪セットであり、登山用品店に行くと最近は軽量で小さく、強いものが売られているそうですから、これらがリュックに収まり、女性一人でも背負って山の中などに入っていってサバイバルできるそうです。何かとても魅力的ですね、自分自身の中に大きな変化があるかもしれません。私も是非一度試してみたいと思います。

幹事報告（藤田　傳次 幹事）

報告事項（クラブ）

○ 10/6 定例理事会の報告

①熊本東 RC 細則改訂の件
②地区米山委員会より募金のお願い
　10/27 の米山卓話の時に募金をする
③「社会奉仕、国際奉仕、公共イメージセミナー」
　榎会長、藤田幹事、平木奉仕プロジェクト委員長、下川奉仕プロジェクト委員が出席
④年忘れ家族会の件
　今のところ開催予定。開催方法は今後検討する。

○会員増強委員会が本日例会終了後に開催されます。

○ 11/3 が祝日の為、11 月定例理事会は 10/27 ㈫に開催します。

例会変更

○熊本東南 RC
令和 2 年 10 月 28 日㈬の例会を「クラブ指定の休会」の為、取り止め。
※ 12:00 ～ 12:30 サイン受付いたします。

○熊本城東 RC
令和 2 年 10 月 26 日㈪の例会を「クラブ指定の休会」の為、取り止め。
※サインの MU の受付はございません。何卒宜しくお願いいたします。

○熊本南 RC
令和2年10月12日㈪18時30分～の例会を「リスクレベル 4 特別警報への引き上げ発表」を受け、中止。

令和2年10月19日㈪12時30分～の例会を「リスクレベル 4 特別警報への引き上げ発表」を受け、中止。
※予定しておりました、10 月 12 日㈪サインメーキャップも取り止めとなります。（10 月 19 日㈪もございません）ご了承ください。

○熊本平成 RC
令和2年10月21日㈬12時30分～の例会を「コロナウイルス感染リスクレベル 4（特別警報）への引き上げ」を受け、取り止め。

令和2年10月28日㈬18時30分～の例会を「コロナウイルス感染リスクレベル 4（特別警報）への引き上げ」を受け、取り止め。
※サイン・メーキャップはございません。ご了承下さい。

【卓上募金】
前回は県ロータリー奨学金 1,512 円でした。
今週は米山奨学金です。

出 席 報 告

（寺本　憲央 会員）

	会員数	当日出席者数	免除者数（出席者）	欠席者	MU 数	修正出席者数	出席率
今週（10/13）	38	25	4（1）				71.43%
前々回（9/15）	38	30	4（4）	3	5	35	92.11%

→出席規定免除者
10 月 13 日分　吉村、緒方、堀川
9 月 15 日分　なし

委 員 会 報 告

○公共イメージ委員会（守谷　光弘 委員）
ロータリーの友 10 月号紹介

○会員増強委員会（守谷　光弘 委員長）
- 会員増強委員会を例会終了後に開きます。
- 新会員勧誘の為のリーフレットが出来ました。11 月の「会員増強フォーラム」の時にお配りします。

☺☺☺☺ スマイル発表 ☺☺☺☺

榎　主税 会長
大瀬さんの卓話楽しみにしておりました。本日はよろしくお願いします。　1,000 円

藤田　傳次 幹事
本日の卓話者大瀬様に感謝しスマイルします。　1,000 円

陣内　裕規 会員
本日の卓話者大瀬様に感謝しスマイルします。　1,000 円

本田　久士 会員
本日の卓話者大瀬様に感謝しスマイルします。　1,000 円

村上　暢敏 会員
昨日（12 日）キャッスルで青年会議所から古稀の年祝いの会に招待され出席して来ました。JC 卒業して 30 年、久し振りに会う先輩もいて懐かしかったです。年相応にオジイチャンになっていました。　1,000 円

田中　信敏 会員
本日は事情により例会を早退します。お詫びにスマイルします。　1,000 円

野上　武 会員
本日の卓話者大瀬様に感謝しスマイルします。　1,000 円

田中　俊憲 会員
先日、小学校の運動会がありました。朝 7:50 からのスタートで昼前には終了というタイトなスケジュールでしたが元気に頑張っている子ども達の素晴らしい笑顔が見れて、嬉しくなりましたのでスマイルします。　1,000 円

古閑　謙二 会員
本日の卓話、大瀬会員の卓話楽しみにしております。日本農業の復活､期待しております。
1,000 円

守谷　光弘 会員
本日の卓話者大瀬様に感謝しスマイルします。
1,000 円

古﨑　正倫 会員
本日の卓話者、大瀬会員に感謝しスマイルします。卓話を楽しみにしております。
1,000 円

小川　裕士 会員
與縄先輩のお元気な顔を拝見して元気が出ました。スマイルします。　2,000 円

上田　裕子 会員
先日、戦後 75 周年戦後遺産めぐりに行って来ました。熊本のメルパルク前白川添いに慰霊碑があり他の団体で贈呈してありました。戦争を無くし平和を願っています。
2,000 円

大瀬　雅人 会員
誕生祝いありがとうございました。本日の卓話よろしくお願いいたします。　3,000 円

寺本　憲央 会員
ほとんど 10 月生まれに近い 9/30 の誕生日のプレゼントを先日頂きました。御礼のスマイルです。　3,000 円

先週までの金額	328,000 円
本日金額	21,000 円
累計金額	349,000 円

卓　話

●入会員卓話

「自己紹介と農林中央金庫について」

卓話者 / 大瀬雅人 会員

今日のメニュー

米山ランチ

そ　の　他

〇熊本東ロータリークラブ細則の変更の件
（永瀬パスト会長）

永瀬邦治 パスト会長より細則改正についての説明

❖❖❖❖卓話スケジュール❖❖❖❖

10 月 20 日	「必敗の戦い・守るべき団体」 郷土史家　勇　知之 氏
10 月 27 日	米山奨学生卓話 劉航（リュウコウ）君 国籍 : 中国 熊本大学生 世話クラブ : 人吉中央 RC
11 月　3 日	秋分の日（祝日）
11 月 10 日	年次総会
11 月 17 日	会員増強クラブフォーラム

ロータリーアットワーク

ROTARY AT WORK 写真編

コロナ禍の中、子どもたちへの支援を続ける

東京紀尾井町ロータリークラブ
第2580地区・東京都

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、地域の子ども食堂が閉鎖されました。そんな中、食堂は閉鎖したものの、少ない資金繰りでお弁当の配布活動をしているNPO法人があると知り、クラブでは3月から2回ほど、お弁当の材料費、さらにお弁当配布の手伝いをしました。また、前年度から当クラブが支援している母子家庭支援のNPO法人によると、母子家庭の状況もどんどん悪化しているとのこと。ここは思い切った支援が必要だと考え、クラブのニコニコボックスから300万円の追加支出をすることを決めました。

困窮する母子家庭140世帯を対象として文具や食材などの支援を計画していたところ、シューズメーカーのアキレス（株）がこの活動に賛同し、子ども用運動靴160足（80万円相当）を無償で提供してくれることになりました。

6月14日にはその運動靴と食材、それに加えて会員企業から、花束を用意して配布会を開きました。参加者からは「雲にでも乗っているのではないか、と思えるほど幸せでした」「どこからも見放された感じで、孤独で押しつぶされそうでしたが、本当に助かりました」「食べ物が届いた時にはうれしくて、ずっとお米を抱いていました。娘も、おなかいっぱい食べられるんだと言っています。命の恩人です」「久しぶりに子どもの喜んだ顔を見ました」といった声がありました。

残念ながら今の日本社会の中において、母子家庭を取り巻く状況は本当に切迫しています。そうした家庭に対し、スピード感を持って支援ができたのは、ロータリーの力だと感じています。

（奥寺邦俊・記）